

Rotary



国際ロータリー第 2630 地区東濃グループ
多治見西ロータリークラブ

Weekly Report

ウィークリー・レポート

2017~2018 年度 第 52 期会長テーマ

『継続するための変化と多様性』

例会日 毎週 木曜日
例会場 産業文化センター
事務局 多治見市新町 2-23-4F
T E L 0572-25-5100
F A X 0572-25-5101
Email n-rc@joy.ocn.ne.jp
H P http://tajiminishi.jimdo.com
会 長 加藤 真左子
幹 事 山田 正史



ロータリー：
変化をもたらす



第 2483 例会 2017 年 10 月 26 日

10 月は経済と地域社会発展月間

米 山 月 間

お祝い例会 例会場 点鐘 12:30

本日のプログラム

点 鐘

ロータリーソング 手に手つないで
四つのテスト

会長挨拶

出席 スマイル報告

委員会報告

幹事報告

財団セミナー報告 齋藤 明君

IM 実行委員会より報告 佐藤 正君

お祝い

お誕生日 結婚記念日

点 鐘



10 月のお祝い

お誕生日

2 日 加藤健治君
(ご夫人)

9 日 嶋内翠様 (龍男君夫人)

16 日 各務智美様 (和宏君夫人)

19 日 篠田幸子様 (博文君夫人)

25 日 各務幸子様 (成喜君夫人)

27 日 飯田みつる様 (利夫君夫人)

27 日 古田文恵様 (徳夫君夫人)

結婚記念日

5 日 松浦 毅君 10 日 稲垣 昇君

15 日 大岩順子君 26 日 中島竹壽君

着信書類

- ・共同募金協力へのお礼
- ・多治見市福祉協議会賛助会員会費のお礼
- ・地区大会事務所より地区大会参加のお礼

例会変更の案内

中津川 RC → 10 月 19 日 (木) 13:00

職場訪問 恵那眼鏡工業 (株)



先週の記録

移動例会（国際陶磁器フェスティバル美濃）

●出席報告

会員数 37名 免除者 3名 出席義務者 34名

出席者	欠席者	出席率
22名	12名	64.7%

地区大会メーキャップ 2名 古田徳夫 加藤健治

セラミックパーク MINO 事務局長

佐橋様挨拶より



まずは、このセラミックパーク MINO の説明をさせていただきます。1999年3月に地域に根付く美濃焼を活用し、東濃西部地域の産業・文化及び観光の振興に寄与するという目的で設立されました。

さて国際陶磁器フェスティバル美濃は1300年の歴史ある美濃焼の素晴らしさを世界に発信し陶磁器産業のさらなる活性化を目的に1986年に始まり、3年に一度開催されています。今回も60の国から2500点の作品の応募がありました。今回会場では国内外の美術家、建築家、美術館館長が審査した142点の作品をご覧頂けます。

ミシュラン料理を美濃焼と共に



魚料理コース



臨時総会について

日時 11月2日（木） 点鐘 12:30

場所 例会場

指名委員の選挙 指名委員 9名を選出

指名委員会について

日時 11月2日（木） 例会後

場所 4階図書室

出席者 会長 幹事 諮問委員長 指名委員

IM 実行委員会よりお知らせ

IM プログラムが決まりました。

日時：2017年12月2日（土）

会場：多治見市産業文化センター5階大ホール

13:00	受付	
		(司会 加藤健治)
13:30	開会点鐘	佐藤八郎
	国歌並びに奉仕の理想	
	歓迎の言葉	加藤真左子
	AG 挨拶 来賓紹介	佐藤八郎
	来賓挨拶	多治見市長
	ガバナー挨拶	田山雅敏
14:00	基調講演 加藤智子（多治見 RC） 「仕事とわたくしと奉仕」	
14:45	東濃グループ8クラブ会長・AG からの活動報告	各クラブ会長 佐藤八郎
15:20	特別講演 二神典子 （ロータリーの友前編集長） 「ロータリーを楽しみましょう」	
	カウンセラー講評	劔田廣喜
	直前 AG へ記念品贈呈	佐藤八郎
	直前 AG 挨拶	齋木寛治
	次期ホストクラブ発表	佐藤八郎
	次期ホストクラブ会長挨拶	篠原一行
	閉会点鐘	佐藤八郎
16:45	懇親会（司会 中島竹壽） AG 挨拶 乾杯 アトラクション 手に手つないで	佐藤八郎 石垣智康
18:00	閉会の挨拶	佐藤 正

(敬称略)

ロータリー入門書より・・・クラブ会報

クラブ会報の使命といえば、記録と情報提供と親睦促進ということになります。記録、特に例会記録や理事会記録の保存はクラブの歴史になるばかりでなく、欠席者への便宜となりあるいは他クラブとの連絡親睦にも役立ちます。また、次の例会行事にも利用出来ます。この目的のために主として週報が利用されます。情報技術の進歩により内容も各クラブ様々です、単なる記録ではなくロータリー情報がたくさん載るようにし、会報の価値が増すように考えること、月報・季節報など様々工夫することが大切です。